



ふじぐみだより-4歳児-



令和4年2月1日 発行

今年度も残りあと2か月を切りました。1日1日を大切に、今月も思いきり楽しんで過ごしたいと思います。

先月から本格的に発表会の練習を行ってきました。ばら組の時は全員でセリフを言っていました。今年度は一人でセリフを言えるように取り組んでいます。始めは恥ずかしくて言えない子もいましたが、練習の中で友だちの姿を見て、「声が大きくて良かった。」「動きをつけていて良かった。」など良かったところを言い合うことで自信を持ってセリフを言える子が増えました。練習を繰り返す中で、劇の中のセリフを自分たちで言いやすいように考え、友だちのセリフも覚えて教え合う姿も見られました。また、他のクラスの練習を見て、身振り手振りをつけることを真似して、振りを自分で考えて練習するようになってきています。

また、発表会のチームごとに劇に必要な小道具を決めて、子どもたちで作りました。セリフを言いながら何が必要か確認するチームや、思いつくものを出し合うチーム。劇がわかりやすくなるように、「スイカを作った方がよい」「後ろに山が必要だよ」などと意見を出し合う姿も見られました。自分たちで「〇〇の方がいいかな?」「〇〇にしよう。」と考えながら作る姿も見られ成長を感じました。友だちと一緒に材料を探しにいたり、自分たちが想像していた物が作れたり、うまくいかなくてやり直しをしたり、普段とは違う製作の経験が出来たと思います。発表会に向けての取り組みの中で、セリフを考えたり、道具を考えるなどを通してイメージする力がついてきたようです。

○今月のねらい

- ・身近な素材(紙コップ、空き箱など)や用具を工夫して使い製作に活かす。
- ・食具を正しく持つ。

○今月の活動

- ・誕生会・体育指導
- ・コーディネーショントレーニング
- ・節分
- ・製作(ハサミ、糊、折り紙など)

○今月の歌

- ・まめまき
- ・鬼のパンツ

《箸の練習をしています》

先月から箸の持ち方の練習を行っています。箸が安定して持てるようになった子は、給食で箸の使用を始めました。遊びの中で箸の持ち方を練習していますが、箸を持つ手の中指が上に出てしまう子が多く見られます。遊びや、食事の中で子どもたちに正しい持ち方の見本を見せたり、一緒に持つ等援助しています。

ご家庭でも正しい食具の持ち方が出来ているが、お子さんの様子を見ていただき、声をかけたり、遊びながら練習してみてください。

＜園での遊びの一例＞

- ・1cm角に切ったスポンジを箸でつまんで製氷皿に入れる
- ・豆粒程度のものを、食べ物に見立てて遊ぶ。等

